

# 天下杉

調査団体名	: 天下杉	団体代表者名	: 以下6名全員
設立年	: 1992年頃(今から22~23年前)	対応してくれた人の名前	: 石原明子、石原久枝、浅井加恵子 片桐淳恵、稲垣悦子、石原みちゑ
団体URL	:	調査員	: 近藤朗、石原淳
活動拠点	: 長野県南信地域	レポート作成者	: 石原淳
取材日	: 2015年 12月 18日		

## 団体名の由来

根羽村には、平成元年環境省(当時環境庁)の巨木調査により長野県下第1位(全国第6位)の巨木であることが認定された大杉(月瀬の大杉)がある。団体名は、この大杉から名づけられたものである。



所在地: 根羽村月瀬日影平  
樹高: 約40m  
幹回り: 約14m(目通り1.5m高)  
樹齢: 1,800年余り



## 活動のきっかけと活動内容

22~23年前、根羽村商工会の都市との交流事業の中で、根羽村大豆から「ふれ愛豆腐」が生まれ、お年寄りに配られた。その時、受け取ったお年寄りから「母親の手作りの味がした」「懐かしい子どものころの味がした」といった感謝が寄せられ、何か他に喜んでいただけることがないかと思いついたのが、演芸による慰問活動であった。主な活動対象は、老人福祉施設や身障者支援施設であり、活動内容は歌、舞踊、寸劇(シンクロ)、など多岐に及ぶ。また、活動場所は飯田市をはじめとする南信地域が主であるが、岐阜県や愛知県などの公演も行っている。

## キャッチフレーズ

「幻の演芸集団(おひざ元の根羽村では活動しないため……)」

## 団体のモットー(何を大切にしているか)

見ていただく方々に喜んで頂けること。また、自分たちも楽しむこと。



## 設立から現在に至るまで変化したこと

当初は石原明子さん1名であったが、徐々に仲間が加わり、現在は6名体制で活動を行っている。活動の対象は、初め重度障害者が中心であったが、次第に老人福祉施設においても活動をするようになった。レパトリーについては、対象となる相手に合わせて時代にマッチした種目(スーダラ節、寅さん、ちゅらさん、じえじえ)も取り入れている。

## 連携している団体・専門家・自治体など

「ねば杉っ子餅」、「きくの会」、「活かまいかい」、「和(なごみ)」など根羽村内の多数の活動団体(これらはすべて女性のグループ)、飯田市、根羽村、売木村、喬木村、名古屋市、豊田市、恵那市、その他

## 山村再生や、その担い手づくりに関わる具体的な活動

身体障害者、特別養護老人ホームなど福祉施設を主とした慰問活動

## 現在直面している課題

団体の平均年齢が75歳を超えたこと。できる限り、楽しく頑張りたい。

## 今後やってみたいこと

山村再生担い手事例集でご紹介いただき、オファーなどがあつた際には、お役に立てる範囲にはなりますが、頑張りたいと思っている。また、そろそろ御園座公演もありかかと考えている(笑)。  
なお、ご期待いただいているシンクロの演技については、冬場の公演は遠慮させていただきたい。ただ、今年はオリンピックイヤーであるため、暖かくなったら披露したいと考えている。(ただし、体型とも相談したい。前にも増して見せられない状況となっている。)冬場に見たい方は、水着をお貸しすることは可能であるため、是非団体に加わっていただきたい。

## そのためにはどんな情報・人脈が必要か

- ・特に必要性は考えてないが、出会った方々を大切に、感謝したいと思う。
- ・ありのままでよいと考えている。

## チームオリジナルの質問1

<質問内容>皆さんの活動の原動力はなんですか？

<答え> 皆さんに喜んでもらうことと、自分たちも楽しむことである。



手品の種明かしを受ける取材者

## チームオリジナルの質問2

<質問内容>初めからこのような勢いのある団体か？根羽の女性はみなこんなか？

<答え> この団体に無口でおとなしい人はいない。根羽の女性は皆こんなかと言えば、それは言い過ぎだが、概してパワフルな女性は多いと思う。それは、全国源流サミットの時に村の女性パワーを感じた。

## その他、伝えたいこと

笑うことが健康に対して最も必要なことです。だから、「皆さん、私たちと一緒に笑いましょう！」

## 天下杉さんを取材して

常に団員の方々に圧倒された取材でした。しかし、決して押し売りではないため、終始楽しい時間を過ごすことができました。特に印象に残ったのは、全てが手作りという事です。音響は、数々のカセットテープをラジカセに出し入れして再生するんです。そのため、再生時に曲が途中から始まったり、途中で切れたり、「今時これ？」と思いましたが、それが懐かしくて逆に新鮮で面白さを倍増させていました。舞踊、歌、寸劇、手品・・・団員すべてが主役になるばかりでなく、慰問される側も舞台に駆り出され、皆が主役になるのです。ただの傍観者にさせないことが楽しませる秘訣と感じました。山村再生担い手づくり事例集は、地域の活動的な若者が取材先になるものという先入観がありました。担い手が若者である必要はないとつくづく思い知らされました。

「天下杉の皆さん、月瀬の大杉に全く引け目を感じない団体ですね。これからもこの地域の『元気』を引き出してくださいね。我々は、取材を通して元気を取り戻しました！それから、1月に実施された地域部会では、山部会のメンバーの前で披露していただきました。皆さんの演技は、都市で生活する我々に潤いを与えて下さいました。夜の懇親会でも、天下杉さんの話題で花が咲きました。これからも、矢作川流域の人々に『元気』をお分け下さい。お願いします。」



《 売木村での公演の様子と取材風景 》



司会進行と歌を披露する石原代表



飛び入り出演を依頼された皆さん



芸者姿で踊りと歌を披露する天下杉



反省会を兼ねた取材風景

《 山の地域部会での公演の様子 》



熱演する団員



飛び入り出演を果たした山部会員1



飛び入り出演を果たした山部会員2



熱演に元気をいただきました！